

「さあ にをいがけ」

プログラムのねらい

- 自分の信仰的な“におい”を感じ取る
- 教えに基づく生き方を心がけ、常に“よいにおい”を発散することの大切さを理解する
- 日常の生活態度からでもにをいがけができることを理解し、自信をもってできることからにをいがけに取り組むよう呼びかける

プログラムの構成

〈起〉《演習》	自己紹介・におい自己チェック（10分）
《演習》	あなたの発散するににおいは？（5分）
〈承〉《本読み》	テキスト「さあ にをいがけ」（5分）
《おはなし》	においの習性、においの大切さ（10分）
〈転〉《演習・	あなたの好きなににおいは？（20分）
おしゃべりタイム》	
《おしゃべりタイム》	よいにおいを発散するには？（10分）
《おしゃべりタイム》	全体発表（10分）
〈結〉《本読み》	テキスト「さあ にをいがけ」（5分）
《おはなし》	教えにもとづく生き方とにをいがけ（20分）
《おしゃべりタイム》	講座のふりかえり（20分）

（1時間55分）
※開会、閉会、つ
なぎの司会時間を
含まないプログラ
ム正味の時間

各項目の時間は目
安です。当日の流
れ、実情に応じて
調整してください

準備物品

- テキスト「さあ にをいがけ」（布教二課にて受渡し）
- 記入用紙「あなたの好きなにをいは？」（巻末に添付。コピーして使用）
- ふりかえり用紙（ 〃 ）

プログラム進行表

時間	単位	プログラム 進め方と内容	ポイント (コメント)	ねらい・方向性
5分		開会 親神様、教祖、祖霊様遥拝 オリエンテーション 講師・スタッフ紹介 (全体司会者・班別司会者など) 本日のテーマとねらい テキスト紹介 ※受講者とスタッフで作上げる講座であるので協力を呼びかける	オリエンテーションとして、講座内容、進め方、終始時間、トイレ休憩なども説明する。	
	司会	<p>「にをいがけ」と聞いてドキッとする人、にをいがけは苦手だ、私にはできない、やりたくない、という人もおられるのではないかと思います。そう思っている人、どうぞ遠慮せずに手を挙げてみてください(笑)</p> <p>ありがとうございます。今手を挙げてくださった人は大変正直な方ですね。みなさん、その気持ちよくわかります。いいじゃないですか。そこから始めましょう。</p> <p>今日の講座では、今一度、にをいがけについて学んで、自分なりにできることを探してみたいと思います。どうぞ気軽にお付き合いください。</p> <p>さて、「にをいがけ」を学ぶということで、今日の講座では「におい」が主役ですが、みなさんは自分の「におい」に気づいていますか？まさか、昨日お風呂に入ったかなと心配する人はないと思いますが…。まず始めに、自己紹介をしながら、みなさんの「におい」を探ってみましょう。</p>		
10分	少数	〈演習〉 自己紹介(簡単に)・におい自己チェック ① さあ にをいがけ」P4～5を使います ② グループの中で、1人ずつ順番交代に設問を読み上げながらチェックしていきます ③ 設問を読み上げる人は、簡単な自己紹介をします ※〇〇から来た〇〇です 今日はよろしくお願ひします	テキストの4ページを開いてください。ここから5ページまでチェックシートがあります。グループの中で、順番に設問を読みながら、チェックしていきましょう。せつかくですから、自己紹介を兼ねて進めましょう。設問を読むときには、お住まいの地区とお名前をみなさんにお伝	<ul style="list-style-type: none"> ●自己チェックを通して、信仰的な「におい」について関心を向けるようにする ●「においチェック」という意外な切り口から、「にをいがけ」をテーマとする講座のイメージと硬くなる心をほぐし、

		<p>それでは設問1… という形で進めます</p>	<p>えして進めてください。</p>	<p>講座へのスムーズな導入を行う</p>
	司会	<p>ありがとうございました。みなさんはどんなにおいを持っていましたか。 続いてもう少し自分のにおいを探ってみたいと思います。</p>		
5分	全体	<p>〈演習〉 あなたの発散するにおいは？</p> <p>①記入用紙を配ります ②2人1組になります ③どちらからでもよいので、簡単に自己紹介をします。自己紹介を終えてから、「最近、気になっていること」をテーマに2人で気軽に話します</p> <p>【3分間】 ※テーマは話しやすいものを提示します ※自己紹介の例 □□が自慢の○○です □□が得意な○○です など</p> <p>④1人が一方的に話したり、聞くばかりにならないよう注意しながら会話を楽しみます ⑤お互いに相手の様子を見てじっくりと話を聞き、相手のよいと感じるところを心に留めながら進めます ⑥話が終わったら、お互いに全体の印象、話し方、表情などから受けた相手のよい部分を用紙に記入します ※例えば、「笑顔が素敵」「声がやさしい」「目が澄んでいる」など ⑦お互いに見せ合い、なぜそう思ったかを伝え合います ⑧用紙をお互いにプレゼントします</p>	<p>次はグループの中で2人組になってください。今度は2人で自己紹介しながら進めます。</p>	<p>●自分では気づいていない「におい」に関心を向けるようにする</p> <p>●特に、他人が自分に対して感じたよい「におい」を知ることによって、信仰的な「におい」を持つ自分に自信を持ってもらう</p>
	司会	<p>いかがでしたか。自分のにおいを発見できましたか？自分では気づかなかったよいにおいを発見してもらった人もいるかもしれませんね。 この「におい」というもの。実は私たちよふぼくにとって、けっこう大切なものなのです。このことについて、テキストを読んで、講師のおはなしを聞いてみましょう。</p>		

5分	全体	<p>〈本読み〉 「さあ にをいがけ」 P3 (上段) “にをいがけ”なんて無理と思っているあなた。その気持ちわかります。</p>	<p>まずテキストを読んでみましょう。 テキストの3ページをお開きください。</p>	<p>○ゆっくり読むように指導する</p>
10分	全体	<p>〈おはなし〉 においの習性、においの大切さ</p> <p>○においは気づかないうちに伝わっていく ○人が好み、引き寄せられるよいにおいを持つことが大切</p>	<p>続いて講師のおはなしを聞きましょう。</p>	
	司会	<p>ありがとうございました。 においはよいにおいも、悪いにおいも気づかないうちに人に伝わる。教祖の教えを知る私たちは、できることならよい方のおいを持ちたいものです。 では、よいにおいとはどんなものなのでしょう。そのあたりを考えていきたいと思います。</p>		
20分	少数	<p>〈演習・おしゃべりタイム〉 あなたの好きなにおいは？</p> <p>①グループに1枚ずつ記入用紙を配ります ②グループの中で、お互いに自分の好きなにおいを出し合い、用紙左側に記入します (例…ケーキのにおい) ③列記したにおいの右側に形容する言葉を記入します (例…ケーキのにおい→甘い) ④列記したにおいの中から、特にお道の人が持っていたいにおいに○印をつけます</p>	<p>今からグループでみなさんの好きな、よいにおいを出し合ってもらいます。みなさんと協力して、できるだけたくさん出してみましょう。そして、そのにおいに形容する言葉をつけていきます。最後にたくさん出たにおいの中で、これはぜひお道の人には持っておきたいと思うものに○印をつけてみてください。さあ、いくつ出るでしょうか。</p>	<p>●自分の好きなにおいを出し合い、人が好むにおいについて考える ●好きなにおいを出し合った後、においから連想されるイメージを出し合い、そのにおいが好まれるわけを探る</p>
10分	少数	<p>〈おしゃべりタイム〉 よいにおいを発散するには？</p> <p>よいにおいをどんな行動や態度から発散することができるかを考えます</p>	<p>いかがでしたか。 今、みなさんに出してもらったにおいは、人が好むにおいです。 では、これらのにおい</p>	<p>●人が好むにおいを人から発散させるとすれば、どんな態度や行</p>

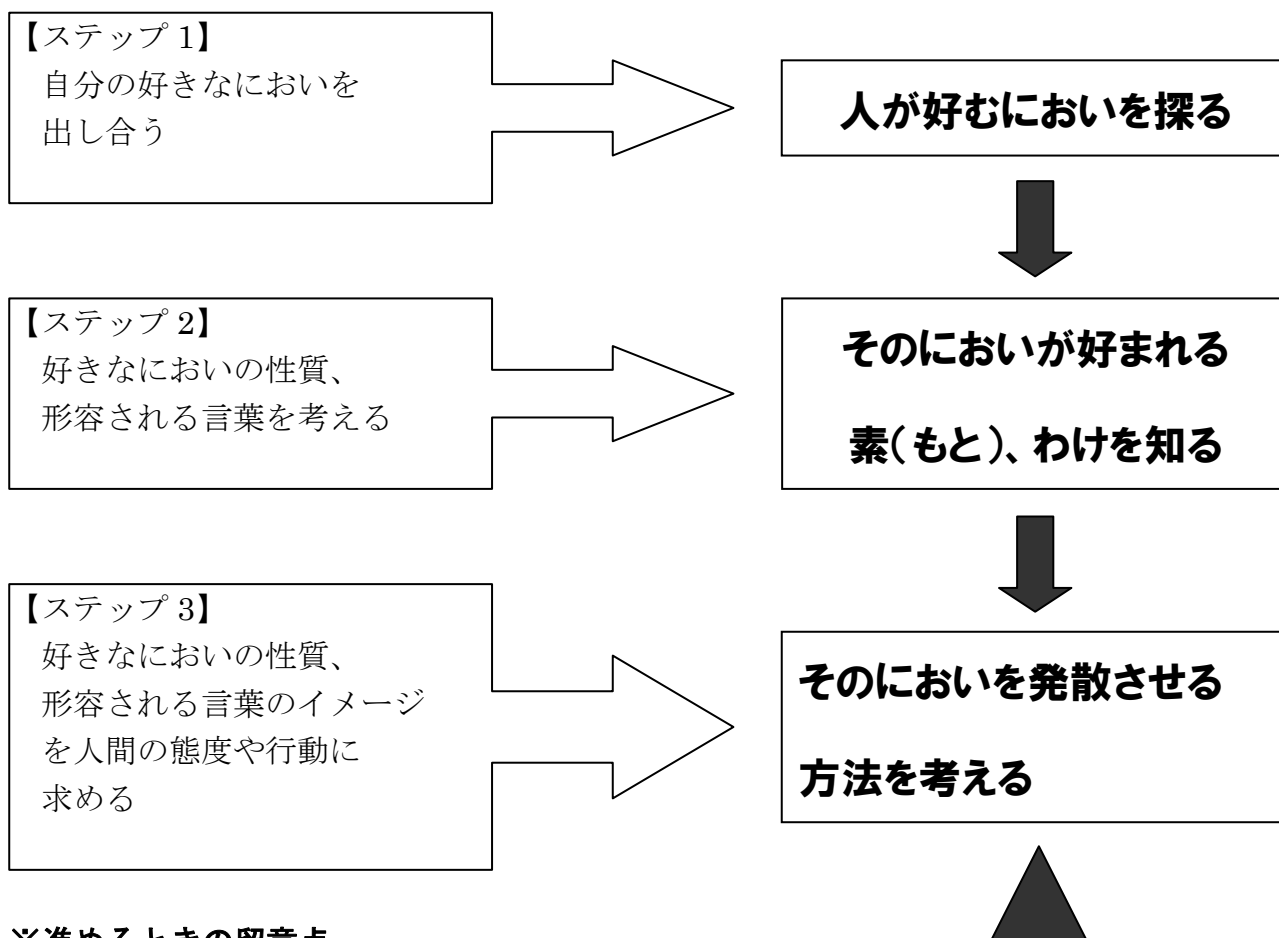
		(例…ケーキのにおい→甘い→ほんわかとしたやさしい言葉づかい	が、人から発散されるとするなら、どんなことで発散されると思いますか。 行動や態度など、具体的に考えられる発散方法をみなさんで話してみてください。	動を取るべきかを出し合い、にをいがけのできるよふぼくとしてのありかたを考える
	司会	いかがでしたか。それぞれに考えていただきました。グループではいろいろなご意見が出て、なるほどと感心するものもあったのではないかと思います。他のグループはどうだったのか。気になるところですよ。ここで簡単に他のグループのご意見も聞いてみましょう。		
10分	全体	<p>〈全体発表〉</p> <p>よいにおいを発散するには？</p> <p>グループで話したことを発表します</p>	<p>それでは、各グループから(司会の方/代表者を選んで)発表してください。</p> <p>他のグループの発表にも配慮して、要点をまとめてお願いします。</p>	<p>○班ごとの司会者から発表する、参加者から代表を選ぶなど、雰囲気やプログラムの進行状況などを配慮して方法を考える</p> <p>○重複する意見を避けるなど発表方法の工夫を</p>
	司会	いかがでしたか。よいにおいを発散するために必要な行動や態度。みなさんからたくさんのヒントをいただいたように思います。ぜひ心がけてみたいものですね。それではここでテキストを読んで確認しておきたいと思います。		
5分	全体	<p>〈本読み〉</p> <p>「さあ にをいがけ」</p> <p>P8-9</p> <p>教祖を思い心温まっているあなた。ぜひ、身近な人とお付き合いをしてください。</p> <p>それが“にをいがけ”になります</p>	<p>それではテキストの8・9ページをお開きください。</p>	<p>○ゆっくり読むように指導する</p>
	司会	ありがとうございました。にをいがけは決して特別なことではない。にをいがけは日常生活の中で、どんなところからでもできるような気がしてきました。それでは今日のまとめとして、講師のおはなしを聞いてみましょう。		

20分	全体	<p>〈まとめのおはなし〉</p> <p>○教えに基づく暮らし方はよいにおいを発散させる</p> <p>○よいにおいを人に伝えて感化。同じにおいを出してもらえる人をまわりにつくろう</p> <p>○まずはそこから。自信を持ってにをいがけに取り組もう</p>	<p>講座全体の流れ、全体発表で出た意見などをふまえて、教えにもとづく生き方のすばらしさ、にをいがけに対する情熱を伝える</p>	
	司会	<p>ありがとうございました。ここまでみなさんとの話し合い、テキストの音読、講師のおはなしを通して、にをいがけについて考えてきました。</p> <p>最後に、今日の講座をふりかえりましょう。今日の講座を受けて、それぞれに明日から、いや今日帰ってから、私はこれがんばってみよう、こんな気持ちで取り組んでみようという決意、心定めを考えてみてください。</p> <p>そしてグループで発表しましょう。せっかく今日一緒に学んだ仲間です。お互いに励まし合いあい、元気をもらって帰りましょう。</p>		
20分	少数	<p>〈おしゃべりタイム〉</p> <p>ふりかえり</p> <p>○明日から（今から）の決意、抱負を発表します</p>		
	司会	<p>ありがとうございました。今日の講座はいかがでしたか？</p> <p>今日お配りしたテキストはどうぞおみやげにお持ち帰りください。</p> <p>そのテキストの中には、今日の講座のまとめが載っています。</p> <p>ぜひ参考にいただき、素敵な毎日をお過ごしくださることを願って、本日はこれで終了いたします。</p>		
5分		<p>閉会</p> <p>親神様、教祖、祖霊様遥拝</p>		

「あなたの好きなにおいは？」

「よいにおいを発散するには？」 進行について

上記2つの演習・おしゃべりタイムでは、3段階の過程を経て、「よふぼくとして持ちたいにおい」「よふぼくとしてのありかた」を考えてもらうことをねらいとしています。



※進めるときの留意点

- 【ステップ2】では、いきなり形容する言葉に置き換えることは難しいので、例えば、そのにおいから想像されるイメージや、〇〇だからそのにおいが好きといった理由を述べてもらうなどしてみるとよいでしょう。
- 【ステップ2】から【ステップ3】へは、参加者はなかなかイメージができないようです。できれば司会者から、1、2例示すとよいでしょう。(例：さわやか→いつも明るい笑顔)

人から好かれ、信仰的
なよいにおいを発散
する「ようぼく」とし
てのありかた